

高等学校における道德教育

主題名 共に「いのち」輝く社会を築く

資料名 「償い」(出典「明日への扉Ⅱ」千葉県教育委員会)

学校名 千葉県立佐倉東高等学校 指導者 藤田 豊彦

1 学習指導案

高等学校 1年C組 道德学習指導案

平成29年11月30日(木) 6校時

(1) 主題名

共に「いのち」輝く社会を築く

(2) ねらい

さだまさし作詞・作曲による「償い」という歌を聴きながら、交通事故で夫を失った被害者の「奥さん」と加害者の「ゆうちゃん」のそれぞれの立場になって、その心情を想像しながら、グループでお互いの考えを共有する。そのことで、さらに自分の考えを深めて、「いのち」の重みについて考える。

(3) 主題設定の理由

一人一人の命はかけがえのないものである。教師がその言葉を一方的に投げかけるのではなく、生徒自身が考えて、自分達で気づかせていくことによって、常識的に知られているこの言葉をより自分のものとしてとらえるのではないかと考えた。交通死亡事故をモチーフに作られた歌詞を追いながら、被害者、加害者、両者の気持ちを予想し、生徒同士で共有することにより、命の重さがより強く感じられると考え設定した。

(4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none">今日は音楽鑑賞とだけ伝え、5人程度のグループを作らせる。次の説明をする。 「これから曲の途中で質問をする。各自、自分の考えを付箋に書き、グループ内で共有していく。」練習として次の発問をして、各自の考えをグループ内で共有させる。 <p>[発問1] 「あなたが今一番大切にしていることは何ですか。」</p>	<ul style="list-style-type: none">何をするのか期待させ集中する。自分の考えを付箋に書き、A3の共有用紙に貼り、グループ内で共有する。	<ul style="list-style-type: none">生徒に指示して、机を合わせて5人程度のグループを作らせる。各班に教師の設問に対する各自の考えを記入する大きめの付箋、それをグループ内で共有するためのA3の紙を数枚配る。他者の考えに目を通すように指示する。

<p>展開 (30)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 曲の前奏部分だけ聴かせる。 <p>[発問2] 「どんな感じの曲か。」</p> <ul style="list-style-type: none"> これから聞く歌の作者，主な登場人物，と実話がモチーフになっていることを伝える。 資料の①の部分（給料日に郵便局へとび込んでいくゆうちゃん）までを聴かせる。 <p>[発問3] 「ゆうちゃんは何のためにそうしていたと思うか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料②の部分聴かせ，[発問3]の理由を確認させる。 <p>[発問4] 「被害者は死亡した。被害者には奥さんがいた。奥さんは加害者に何て言ったと思うか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料③の部分聴かせる。 資料④の部分聴かせる。 <p>[発問5] 「ゆうちゃんの償う方法とは何だったのか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料⑤の部分聴かせる。 <p>[発問6] 「手紙には送金は，もうやめて下さいと書いてあったが，それはどうしてだと思うか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「暗い」・「悲しい」等 歌の出だし①を聞く。 付箋に自分の考えを書き，グループ内で共有する。 「交通事故を起こしたから」，「被害者にお金を送るため」等 付箋に各自の予想を書き，グループ内で共有する。 奥さんが言ったことを各自が確認する。 「働いて送金をする」 付箋に各自の予想を書き，グループ内で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前奏部分だけを聞かせる。 数人に聞いてみる。 特に曲の歌詞内容に注意するように伝える。所々で中断し，質問していくことを伝える。 1行程度で良いことを指示して，必ず共有するように伝える。 数名の生徒を指名する。 自分が奥さんの立場だったらどう思うか考えるように，指示する。 生徒を指名する。 数グループにどんな予想があったか聞く。
--------------------	--	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> 次の2つの質問をして、資料⑥の部分をお聴かせ、グループでまとめさせる。 <p>[発問7] 「ゆうちゃんのことを考えた奥さんの言葉はなにか。」</p> <p>[発問8] 「送金を受け取っていた奥さんの気持ちはどうだったのか。」</p> <p>[発問9] 「その手紙を受け取った後、ゆうちゃんはどう思うか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 残りの歌詞資料⑦以降をお聴かせする。 <p>[発問10] 「ゆうちゃんと奥さんの心の傷はどの程度癒やされたと思うか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「自分自身の人生をもとに戻して欲しい」 「夫を思い出すのが辛い」 付箋に各自の予想を書き、グループ内で共有する。 ゆうちゃんが今後するであろう行動を確認する。 少し、消す生徒 全く消さない生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞にどうあったか生徒を確認する。 歌詞にどうあったか生徒を確認する。 黒板に棒グラフを書き、数名の生徒を指名し、癒やされた分だけ消させる。
<p>終末 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞全体が印刷されたプリントを配布し、もう一度歌詞内容をお読ませる。 振り返りシートに感想をお聴かせする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞を読む。 振り返りシートに記入する。 	

(5) 他の教育活動との関連

本授業を終えて、被害者だけでなく加害者にも成りうるという交通安全に、或いは広く、お互いの立場、気持ちをよく考えることに生徒の目が向くようになることを願っている。また、自殺ということを考えなかったゆうちゃんの強さと優しさ、辛い気持ちを抱えながらも生きていくゆうちゃん、奥さんの姿が生徒たちの心を勇気づけるものとなって欲しい。

2 事後検討会

T あなたが今一番大切にしていることは何ですか。(→付箋にてグループ内共有)

S 人にかかわること：・家族 ・友人 ・自分 等

人以外のこと：・お金 ・スマホ ・休日 ・部活の道具 等

若干、人以外のことが多い

- T (曲の前奏を聴かせてから) どんな感じの曲ですか。
- S ・暗い ・ドラマチック ・普段 聴かない曲 ・韓流ドラマっぽい
- T (歌詞の初めの部分を聴かせてから) ゆうちゃんは何のために郵便局に行っていたのか。
- S ・貯金のため ・親にお金を送っている ・誰かに仕送りしている 等
- T (ゆうちゃんが交通死亡事故の加害者になった部分を聴かせてから) 被害者の奥さんはゆうちゃんに何て言ったと思いますか。(→付箋にてグループ内共有)
- S ・夫を返してください ・一生償え! ・お金を払え 等
- T (奥さんの言葉の歌詞を聴いてから) 何て言っていましたか。
- S 人殺し, 一生許さない
- T (奥さんから手紙が届いた歌詞の部分を聴かせてから) 手紙には, 仕送りは止めてくださいと書いてあったのだが, どうしてだと思えますか。(→付箋にてグループ内共有)
- S ・もう十分お金をもらったから ・夫のことを思い出すから ・お金をもらってもどうしようもないから ・お金をもらうのが申し訳なくなったから 等
(「送金されてくる度, 夫を思いだしてしまうから」がほとんど)
- T (手紙の内容の歌詞部分を聴かせてから) この後, ゆうちゃんはどうすると思えますか。(→付箋にてグループ内共有)
- S ・自殺する ・仕送りを続ける ・仕送りが奥さんを苦しめていたと反省する ・被害者のことを忘れないようにして, 精一杯生きる ・自分のために生きる 等
- T (歌を最後まで聴いてから) ゆうちゃんの悲しみと奥さんの悲しみは, 事故直後を100とするどどの位減ったと思えますか。(生徒4人を指名し, それぞれ2人にゆうちゃん側と奥さん側の悲しみを黒板に書いた棒グラフを黒板消しで消させる)
- S 4人中3人は3分の1程度消す。1人は全部消す(ゆうちゃん側)。
- T それぞれ何の分が減って, 残ったのは何の分が残ったと思えますか。
- S 相手への怒りが減った。
- S 相手に恨まれているという気持ちが減った。
- S 人を殺してしまったという後悔が残っている。
- S 夫が死んでしまったという悲しみはずっと残っている。

(2) 授業の感想

(生徒の感想)

- ・たとえ許されないことをしたとしても, その責任を放棄せずにちゃんと償うことが大事だと思った。
- ・自分が悪いことをしたらその責任をとりつづけ, 自分にされたら相手を許す広い心を持ちたいと思う。
- ・もし, 自分がゆうちゃんなら, と考えたら自殺するかなとか思ったりしますが, 自殺したら責任を投げすてるようになるので, それは人間としておかしいと思った。
- ・どんなに大きな過ちを犯してもその人に対する謝罪と誠意を持ち, 相手に許してもらえなくともそのような気持ちを持つことが大事だと思った。
- ・人の命はお金などに換えることはできないがちょっとした所で不注意などをすると, 人生が変わってしまうんだと感じました。
- ・人はどんなに悪く思われていても, それに対してすまないと思う気持ちが相手にも伝わるようにすればいつかその相手も許してくれるものだとも思いました。なので, これからはやっていけないことをしたら謝罪の心を持っていこうと思いました。
- ・もしも自分が殺してしまったら, もしも自分の夫などが殺されてしまったらとどちらの立場で

も考えたら、どちらもすごく辛くてゆうちゃんと奥様のようになるのかなと思った。

- ・人を殺しちゃったせいで、人生がこんなにも変わってしまって、苦勞しながら生きるのは大変だなと思いました。
- ・加害者は一生自分の罪を背負っていきながら、被害者は家族や友人を亡くしてしまったという悲しみを背負って生きていかなければいけないので、とても大変だと思いました。

(参観者の感想)

- ・高校での道徳の授業のイメージが湧かなかったが、導入の仕方の大切さがわかった。生徒の意見もたくさん出ていたので、今後参考にしたい。
- ・生徒と先生の信頼関係ができており、授業前からその雰囲気を感じた。先生の細かい行動が参考になった。
- ・教員側から小さくポイントを絞って話し合いのサポートをしていることがとても参考になった。
- ・生徒が生き生きしているのがいいと思った。グループワークをとおして自分の意見を言えるのがよいと思った。
- ・さだまさしの歌を利用した授業が素敵だった。歌詞の中に答えのない質問など問いの作り方が秀逸だった。生徒が楽しそうに取り組んでいたのが印象的だった。
- ・授業が始まって生徒の切り替えがしっかりしていた。道徳は考えを放棄する生徒もいがちだが誰もが最後までしっかり考えていた。中学と高校では発達段階が違うため授業のやり方も違うのか勉強になった。高校では生き方の授業であると感じた。
- ・生徒が落ち着いて学習に参加していた。担任との関係の良さを感じた。
- ・生徒自身が課題をもって何らかの答えを導き出す授業が展開されていた。
- ・賛成反対の意見をどうまとめるかということに関してはきれいにまとめるというだけではなく生徒の意見を尊重してまとめたという点がよかった。
- ・生徒がワークシートに書く量が多く、先生方の授業のすばらしさ、生徒と担任との良好な関係を感じることができた。
- ・子供たちは真剣に考えたいのだなということを感じた。小1から積み上げてきたことを大切にいただいていると感じた。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 生徒の生活(家庭)環境について

まず、生徒自身の家族で交通死亡事故の被害者、加害者がいないことが前提にある。もしも、そのようなケースが有った場合は、今回のようなグループ内活動で該当生徒が傷つきかねないので注意が必要と考える。

(2) 事前指導について

人間の考え方、感じ方はそれぞれ違っているので、そのことを生徒たちにも実感させるため、本時のねらい、テーマは生徒に伝えないで、内容を予測させていく形式で授業を行った。予め伝えてしまうと、結論が先に出来上がってしまって、生徒の自由な感じ方や考えが制限されてしまうと考えたからである。